

さいたま緑の森博物館におけるヘビ類の記録

佐々木翼（株式会社オリエンタルコンサルタンツ関東支社環境部）

はじめに

埼玉県入間市と所沢市にまたがるさいたま緑の森博物館は、武蔵野の里山環境を展示としたフィールドミュージアムである。博物館の敷地には、クヌギ、コナラを代表樹種とする雑木林が広がっている。地表には腐葉土、広葉樹のリターが堆積しており、一部、アズマネザサが密生している。また、館地内の3つの湿地（大谷戸・西久保・糎谷八幡）には通年水が残っており、水田では5月から10月まで稲作が行われている。

本館と比較的距離が近く、秩父山地に接している飯能市では、ヘビ類の記録について複数の報告がある（石井ほか，2017，2017，2018）。しかし、本館が位置する入間市、所沢市では近年の記録が少ない。今回筆者は、雑木林、湿地、水田など多様な自然環境を有する博物館地内を対象として、生息するヘビ類の記録を行ったため、ここに報告する。

調査方法

さいたま緑の森博物館地内の散策路、雑木林、水田のあぜ道を踏査し、できるだけ均等に巡回した。調査範囲を下図に示す。

目撃したヘビ類は可能な限り捕獲し、日時、種名、全長、3次メッシュコード（約1km四方）を記録した。

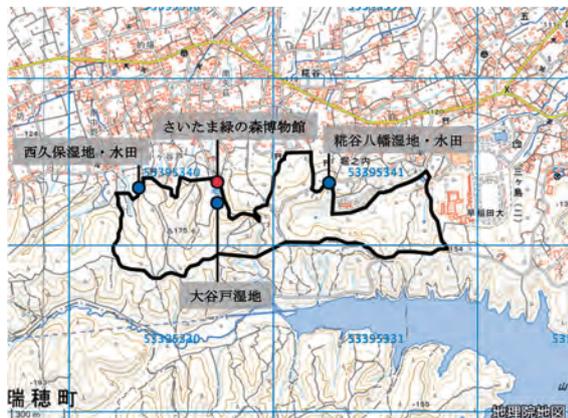


図 調査範囲（国土地理院タイルを加工して作成）

結果・考察

今回の調査では、6種39例のヘビ類を確認することができた（表1）。確認回数が最も多かった種はアオダイショウ（15例：写真1）であり、次にヒバカリ（8例：写真2）、シマヘビ（7例：写真3）、ニホンマムシ（5例：写真4）、ヤマカガシ（3例：写真5）そしてシロマダラ（1例：写真6）であった。

確認時期が最も早かったのは、アオダイショウ（3月17日）で、最も遅かったのはアオダイショウおよびシマヘビ（11月17日）であった。

ヘビ類の確認場所は林縁が最も多かったが、下草が少なく見つけやすかったためと考えられる。

さいたま緑の森博物館は、独立丘陵地である狭山丘陵の北西部に位置する。狭山丘陵におけるヘビ類は、本州に生息する8種のうちタカチホヘビを除く7種が記録されている（瑞穂町教育委員会，2006）。今回の調査では、狭山丘陵で既に記録されている7種のうちジムグリ以外の6種を確認することができた。ジムグリは、博物館地内では5年ほど前に1度目撃例があるのみであり（さいたま緑の森博物館私信）、生息個体数は非常に少ないと考えられる。

以下に、本調査で確認された6種についての考察を述べる。

【アオダイショウ】

埼玉県内では低地帯から山地帯まで広く生息しており、森林、水田、住宅地まで様々な環境に適応している（埼玉県，2018）。本調査でも水田、林縁、建物付近といった多様な環境で確認された。餌資源が豊富な里山環境は生息適地であるとされ（埼玉県，2018）、調査範囲内の個体数は多いと考えられる。埼玉県 RDB 動物編2018では NT2（準絶滅危惧）に指定されている。

表1 2024年に確認されたへび類

月日	種名	全長 [cm]	天気	気温 [°C]	時間帯	場所	3次メッシュ
3月17日	アオダイショウ	不明	晴	21.3-5.4	12:00-18:00	林縁	53395341
	アオダイショウ	不明				林縁	53395341
4月7日	アオダイショウ	115	晴	23.3-11.1	12:00-18:00	林縁	53395341
4月20日	シマヘビ	92	晴	25.8-10.3	9:00-12:00	林縁	53395341
	シマヘビ	101				林縁	53395341
	シマヘビ	不明				林縁	53395341
	ヒバカリ	40				林縁	53395341
4月21日	ニホンマムシ	不明	晴	22.3-15.1	12:00-18:00	林縁	53395341
	アオダイショウ	不明				林縁	53395341
	アオダイショウ	105				林縁	53395341
	ヒバカリ	45				林縁	53395341
5月11日	アオダイショウ	120	晴	25.2-11.2	12:00-18:00	水田	53395340
	ヒバカリ	60				水田	53395340
	ヤマカガシ	60				林内	53395340
5月25日	アオダイショウ	不明	晴	24.7-17.7	12:00-18:00	林縁	53395340
	ヒバカリ	49				林内	53395340
	ヒバカリ	16			18:00-22:00	林内	53395340
6月24日	ヒバカリ	54	曇	33.8-20.2	12:00-18:00	林縁	53395341
	アオダイショウ	140				林縁	53395341
6月30日	アオダイショウ	142	曇	27.1-21.0	9:00-12:00	林縁	53395341
	ヤマカガシ	34				水田	53395340
7月20日	アオダイショウ	134	晴	35.8-24.8	9:00-12:00	林縁	53395341
	シマヘビ	95			12:00-18:00	林縁	53395341
7月27日	ニホンマムシ	50	晴	37.2-24.6	18:00-22:00	建物付近	53395340
9月8日	ヒバカリ	52	雨	35.1-24.5	18:00-22:00	林縁	53395340
	ヒバカリ	57				林縁	53395340
	ニホンマムシ	44				林縁	53395340
	シロマダラ	50				林縁	53395340
9月29日	アオダイショウ	140	曇	22.7-19.8	12:00-18:00	林縁	53395340
10月19日	アオダイショウ	83	雨	28.3-19.7	18:00-22:00	建物付近	53395340
	ニホンマムシ	44				林縁	53395341
	ニホンマムシ	47				林縁	53395341
10月27日	シマヘビ	100	晴	23.4-16.2	9:00-12:00	林縁	53395341
	アオダイショウ	120				林縁	53395341
	ヤマカガシ	不明			12:00-18:00	林内	53395340
	シマヘビ	120				水田	53395340
11月17日	アオダイショウ	128	晴	24.0-14.5	9:00-12:00	林縁	53395341
	アオダイショウ	不明				林縁	53395341
	シマヘビ	不明				林縁	53395341

気温は所沢における最高気温、最低気温を示す。気象庁 HP (<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etm/>、2024年12月15日閲覧)



写真1 アオダイショウ (5月11日)

【ヒバカリ】

埼玉県内では低地帯から低山帯まで広く生息している(埼玉県, 2018)。水辺をよく好み、餌はカエルに依存する傾向が強いとされる(埼玉県, 2018)が、本調査では水辺から離れた林内でも複数の個体が確認されたことから、ミミズ類も採餌していると考えられる。埼玉県 RDB 動物編2018では NT1 (準絶滅危惧) に指定されている。



写真2 ヒバカリ (5月25日)

【シマヘビ】

近年、関東平野とその周辺では減少が著しく、近県の東京都や千葉県でも減少が指摘され、埼玉県内では特に秩父地方で少ないとされる(埼玉県, 2018)。本調査では7例確認されたことから、調査範囲内の個体数は比較的多いと考えられる。埼玉県 RDB 動物編2018では VU (絶滅危惧II類) に指定されている。



写真3 シマヘビ (10月27日)

【ニホンマムシ】

埼玉県内では低地から山地まで広く生息し、多様な環境でみられる(埼玉県, 2018)。本調査では昼間に1例、夜間に4例確認された。気温が高い昼間を避け、主に夜間に活動していると考えられる。埼玉県 RDB 動物編2018では NT2 (準絶滅危惧) に指定されている。



写真4 ニホンマムシ (7月27日)

【ヤマカガシ】

埼玉県内では低地から山地まで広く生息している(埼玉県, 2018)。埼玉県 RDB 動物編2018では NT1 (準絶滅危惧) に指定されている。本調査での確認は3例のみで、いずれも幼蛇であった。同所的にアオダイショウ、シマヘビが見られたことから、生息適地や活動時間帯が重複するこれら3種は競合している可能性がある。餌資源や生息適地の減少が、資源をめぐる競争や個体数の減少につながると考えられる。



写真5 ヤマカガシ（6月30日）

【シロマダラ】

埼玉県内では低地帯から山地帯まで広く生息しているが、外秩父山地とその周辺での生息記録が多く、低地帯での生息記録はきわめて少ない（埼玉県，2018）。埼玉県 RDB 動物編2018では VU（絶滅危惧Ⅱ類）に指定されている。夜行性で人目につきにくく、本調査では夜間調査時に博物館傍の林縁で1例確認された。本種は爬虫類専食であり、館地内に多数生息しているヒガシニホントカゲやニホンヤモリ等の小型爬虫類を採餌していると考えられる。館地内では2012年に礫死体が確認されている（石井ほか，2017）。



写真6 シロマダラ（9月8日）

謝 辞

本調査にご助言、ご協力いただいた、埼玉県立川の博物館 藤田宏之 学芸員、筑波大学生命環境系 澤田聖人 助教、さいたま緑の森博物館スタッフの皆様に厚く御礼を申し上げます。

引用文献

- 石井克彦，佐藤浩一，石井徹尚（2018）2017年埼玉県飯能市における爬虫類の記録．埼玉県立川の博物館 紀要 18：29-31.
- 石井克彦，佐藤浩一，石井徹尚（2017）2016年飯能市における爬虫類の記録．埼玉県立川の博物館 紀要 17：13-17.
- 石井克彦，佐藤浩一，石井徹尚，初雁稔（2017）埼玉県内におけるシロマダラ（*Dinodon orientale*）の近年の記録．埼玉県立川の博物館 紀要 17：18-20.
- 埼玉県（2018）埼玉県レッドデータブック動物編2018（第4版）．pp. 106-110.
- 瑞穂町教育委員会（2006）3へび類．pp. 26-27．瑞穂自然科学同好会／瑞穂町郷土資料館（編），瑞穂の動植物